

- 一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
- 一、スポーツに親しみ、健康で明るいくらしを築きます。
- 一、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。
- 一、きまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
- 一、伝統と自然を大切に、住みよいまちをつくりまします。



浄化センター完成予想図（全景と管理棟）

「水洗便所」へ前進

浄化センターに着工



本町が宇部市と共同で行う公共下水道・阿知須浄化センターの起工式が二月四日、干拓地南端の現地で行われました。

今回の工事は、管理棟（事務室）と水処理棟を七億二千八百万円で竹中土木と日立建設が請負い来年三月までに完成の予定です。

水洗便所が使用できるようになるのは平成七年度の予定で、それまでに受変電棟、汚泥機械棟、重力式濃縮機械棟および関連施設を整備することになっていきます。設計施工は日本下水道事業団。これにかかる事業費は総額三十二億円。

本町の下水道事業は三年前から砂郷地区を皮切りに下水道管の布設を続けていますが大事業となるため、宇部市と一緒に平成三年五月、宇部・阿知須公共下水道組合（管理者・飯田宏史阿知須町長）を設立、「公共下水道事業だけを行う役場」として事業を進めています。

宇部市の計画区域は西岐波の白土付近以東と東岐波地区。阿知須町は概ね国道以東の住宅集中地区（沖の原、二の宮地区を含む）と岩倉地区の合計二・五平方メートル、町総面積の約一割とし、完成は平成二十二年の予定ですが、配管が終ったところから順次、水洗便所が使用できるようになります。

推進体制や指導者養成

「生涯学習まちづくりのについて」

町生涯学習審議会から答申

町生涯学習審議会（高重等会長ら十五人）はこのほど飯田町長に「生涯学習まちづくりについて」答申しました。

第二次阿知須町基本構想（平成3～12年）には、町の将来像として「ゆとりの中に活力と創造性を育む交流のまち阿知須」とし、さらに基本目標として①自然と人間の調和する「田園都市」②生きがいのひろがる「生涯学習都市」

③活力あふれる「交流都市」④居住文化を創造する「住ま都市」の四本柱を掲げています。

この中の「生涯学習」をどう推進し、まちづくりに結びつけたらよいか、町内の有識者の意見を聞き、推進しようとの考え方から、平成三年七月に町長が同審議会へ諮問、これを受けて審議会は先進地視察や講師を招いての研修、

委員会の意見交換、検討など加えて十二月二十五日に答申に至ったものです。

内容は第一章「生涯学習まちづくりの基本的な考え方」第二章「生涯学習まちづくりの課題と充実。振興方策」、第三章「今後の推進のために」というまとめ方をしています。



答申書を町長に説明（左から竹本副会長、高重会長）

「生きがい」を生涯学習で

答申を受けて飯田町長は次のように述べています。

「審議会の委員のみならずには約一年半かけて熱心にご検討いただき、充実した答申をいただき感謝しています。

まちづくりは、物心両面で充実することが大事です。都市基盤の整備、産業振興などは行政の役割として今後とも推進しますが、心の充実、満足感には人によって違います。

そのため、教養、趣味、健康の学習やスポーツ、レクリエーション、奉仕活動などを通じて、個人の特徴が生かされ、生きがいや、この地に住む喜びが一層ひろがる町の実現に努めます。そのために、

この中で「生涯学習の必要性」については、ゆとりや精神的な豊かさを求める時代を迎えたこと、長寿社会、女性の社会進出、技術革新、国際化、週五日制の普及などで社会の変化への対応、さらに家庭・地域社会の連帯感が失われ、教育力が低下していることなど指摘、「人づくりはまちづくり」であり、人々がともに学び、協力し、励まし合うことで心豊かになり、生き生きとして地域も活力があふれ、発展につながるのとの方を示しています。

生涯学習を推進するために、答申の趣旨を尊重し、検討を加え、よりよい推進体制の確立、人材の育成に努めるとともに、いつでも、どこでも、

答申の趣旨を尊重し、検討を加え、よりよい推進体制の確立、人材の育成に努めるとともに、いつでも、どこでも、

や借金の伸びは小さく、他からの収入が多くなっていることを示しています。

数字で見る阿知須

⑰

伸び著しい町財政

平成三年度の町一般会計の決算は歳入三十一億四千九百四十四万五千円、歳出三十億六千六百三十九万六千円といずれも三十億円の大台に乗りました。（四ページ参照）

過去の決算状況をみると、昭和五十六年度以降六十三年度までの八十年間で二十億円を超えたのは六十年だけ。これは清掃センターを建設した年で、国庫補助が大きく影響し

だれでも、だれでも学習できるような環境づくり、支援体制づくりに取り組むたいと考えています。みなさまの自発的で積極的な学習を期待いたします。

答申に携わった審議会委員の氏名

- ▽会長—高重等（浜表）▽副会長—竹本鈴子（砂郷三）▽委員—藤井直澄（河内）工藤敦（寺河内）国重弘之（源河）磯中雅博（砂郷一）弘中得男（築地）河村秀政（前山）徳本佳和（小古郷南）村田和己（恵比須）山本貴広（飛石）山田千恵子（沖ノ原）藤井あけ子（且門松）山田育子（小山）西山由美子（源河）

町一般会計の年度別歳入歳出決算規模

年度	歳入決算額 (千円)	指数	歳出決算額 (千円)	指数
56	1,848,540	100	1,673,019	100
57	1,928,707	104	1,746,933	104
58	1,880,702	102	1,805,195	108
59	1,700,165	92	1,627,578	97
60	2,092,916	113	2,091,981	125
61	1,766,929	96	1,765,501	106
62	1,748,714	95	1,748,198	104
63	1,893,374	102	1,876,206	112
元	2,608,368	141	2,549,221	152
2	2,697,512	146	2,587,874	155
3	3,149,445	170	3,066,396	183

人権擁護委員に

井上恵子さん

第4回町議会定例会

平成四年の第四回町議会定例会は十二月七日から十九日まで開かれ、議案十八件、決議二件、意見書二件、請願一件の全案件が可決されました。

年四回の定例会の最後の議会で、町の各会計の予算補正や平成三年度の決算などが審議の中心となりました。

可決された案件は次のとおり。

〔工事請負契約の変更〕漁港の海岸保全のため消波ブロック四十四個設置するため百八十二万十円を追加。原契約と合わせて八千七百一十十円に

工事は吉南土木工業所が請負〔人権擁護委員候補者〕福重

常代さんの任期満了に伴う後任として井上恵子さん(49)

一旦北一を推薦。任期三年。本町の委員定員は二人。法

務大臣の委嘱時期が異なっている。今回は一人の改選。

〔町の休日に関する条例の一部改正〕四月から「土曜日」を休日することに改正。完

全週休二日制を実施(詳細は別記)。

〔職員勤務時間、休日および休暇に関する条例の一部改正〕土曜日が休みになるが一週間の勤務時間が週四十時間を下

らないための文言を改めた。つまり平日は勤務の終了時間を十五分間延長、午前八時半から午後五時十五分までとなる。

〔町職員の給与に関する条例の一部改正〕給料、住居手当、通勤手当など国家公務員に準じて改正。給料の平均引き上げ率は二・八七割。四月に逆上って支給。初任級は高校卒業試験採用十三万一千九百円、

〔町職員の給与に関する条例の一部改正〕給料、住居手当、通勤手当など国家公務員に準じて改正。給料の平均引き上げ率は二・八七割。四月に逆上って支給。初任級は高校卒業試験採用十三万一千九百円、

〔町職員の給与に関する条例の一部改正〕給料、住居手当、通勤手当など国家公務員に準じて改正。給料の平均引き上げ率は二・八七割。四月に逆上って支給。初任級は高校卒業試験採用十三万一千九百円、

毎週土曜日を閉庁 平日の執務は5時15分まで

4月から

昨年十二月の第四回町議会定例会で「休日に関する条例の一部改正」が可決され、本町役場の機関は四月から毎週土曜日が休みになります。

各事業所の完全週休二日制の普及により、官公庁の土曜閉庁が全国的に進んでいます。

国は昨年の五月から、山口県は昨年八月から実施し、市町村役場も県下五十六市町村のうち昨年十一月を皮切りに年内に七町が実施中。さらに二月からは十一市町、三月から二町が決まっており平成四年度中に合計二十市町が完全

短大卒同十四万一千円、大学卒同十五万二千三百円に。職務級も現行一級から七級までであったのを「特に困難な業務を行う課長」に該当する八級を新設。

〔平成四年度一般会計補正予算、各特別会計補正予算〕一般会計は四回目の補正。歳入歳出とも二億二千三十一万八千円を追加し総額三十二億四千二百二十八千円に。

人件費や阿知須町農協が宇部市、厚狭郡下の農協と合併するための助成金支出、引野から宇部市西岐波区片倉に通じる町道の改良、引野から東岐波に通じる道路、西祝地区内の排水路、井関川にかかる

浜表橋の拡幅(二車線を三車線に)、消防第二分団(井関地区)の機庫移転工事、井関小学校運動場の柵の補修などの支出が主。

特別会計は国民健康保険、老人保健、水道などそれぞれ事業に応じて追加補正。

〔平成三年度町一般会計歳入歳出決算の認定〕歳入三十一億四千九百四十四万五千円、歳出三十億六千六百三十九万六千円、差引き八千三百四十九千円の残。歳入は前年度より一六・八割、歳出一八・五割の伸び。(四ページ参照)

このほかに特別会計(国保、老人保健、交通災害共済、同和地区住宅資金貸付、同和福

祉援護資金貸付、土地取得、下水道)七つを合わせた合計額は歳入十四億六千三百一十一万五千六百九円、歳出十四億一千二百四十九万九千六百六十八円、五千六百六十六万四千八百一円の残。

〔請願・決議・意見書〕▽請願「黒谷池の下流の水路改修の採択▽決議①廃棄物処理施設整備に当っては国庫補助を拡大してほしい②米の自由化に関し「例外なき関税化の阻止」の要望決議▽意見書①七月二十日を「海の日」として国民の祝日とすること②歯科医療の初診料や技術料などを改善するようにと国などへ意見書を出すことを可決。

土曜日を休むために、本町は平日の執務時間を現行午前八時半午後五時を「午前八時半午後五時十五分」とし毎日十五分間延長します。

住民票や印鑑証明などの交付申請は金曜日までにおねがいします。

出生、死亡、婚姻など戸籍関係の受け付け、および埋水葬許可証の発行は、日曜日、祭日と同様に行います。

なお、公民館(図書室を含む)、清掃センター、砂郷・岩倉保育園、小・中学校は現行どおりです。

役場の窓

◆景気低迷の中でも阿知須町に「土地を求めよう」「住宅を建てよう」という動きが活発です。三千平方メートル以上の土地を造成し、建物を建てようとするときは都市計画法によって県知事の許可が必要で

す。しかし、本町は千平方メートル以上の場合、町開発指導要綱に基いて事前に構想協議をしていたり、事前にならなっています。着手してから難題が起きたり、法の規制があつて事業推進が行き詰まることのないように、あらかじめ検討し、指導し、また、ご協力もいただこうというわけです。「知らぬ顔をしてやっておこう」といって手がけ、結局、経費が高つくたといつて悔やまれる人もあります。町の指導は正しい開発を手伝うためのものです。早いうちに協議されるのが賢明です。

◆貸し家を建てる金はないかといつて土地を遊ばせておくのもつたいない……。そしてお考えの方はありませんか。住宅をふやす方策の一つとして、町はこうした方々のご相談に応じます。そして、法律、資金、運営管理の問題など解決し、土地を提供される方のよろこびが得られるような方法を探るようになっています。人口増対策にあなただけのお力をお貸しいただけませんか。窓口は企画課です。



4

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

歳入歳出とも30億円台に 平成3年度町一般会計決算

平成3年度（三年四月～四年三月）の阿知須町の一般会計は七つの特別会計の決算が十二月の町議会で認定されました。

一般会計は通常の町政を進めるために必要とする会計制。教育、建設、衛生、税務、福祉、地域の問題など扱うのに要する人件費、事務費、工

事費など多量な経費が含まれます。

この歳入額（年間の収入）は三十一億四千九百四十四万五千円、歳出（年間の支出）は三十億六千六百三十九万六千円で差し引き八千三百四十九千円の残、これを平成四年に繰り越しました。

前年度に比べて四億五千九百三十三千円（一六・八割）の増。その主なものは国が全

国の市町村に配分する地方交付税が一億六千万円増えたことや補助事業などの国庫支出金、繰越金、その他殆ど分野で増えたことによります。減ったのはゴルフ場利用税交付金で、この収入は八千七百六十九千円。前年度に比べて五百四十五万九千円の減でした。

総額三十億六千六百三十九万六千円で前年度に比べて四億七千八百五十二万二千円（一八・五割）増。

過去の決算状況からみて、三十億円台になったのは平成三年度が初めてです。

財政調整、奨学、都市計画事業、公共施設建設、まちづくり人づくり、福祉、土地開発などの基金に一億四千万円を当てたほか、水道の補助、高料金対策など一億四千万円余、新農業構造改善事業（ライスセンター関係）一億三千万円余。阿知須町の地下道新設工事に約一億二千万円を充当したのがめだちます。

内訳は次のとおりです。

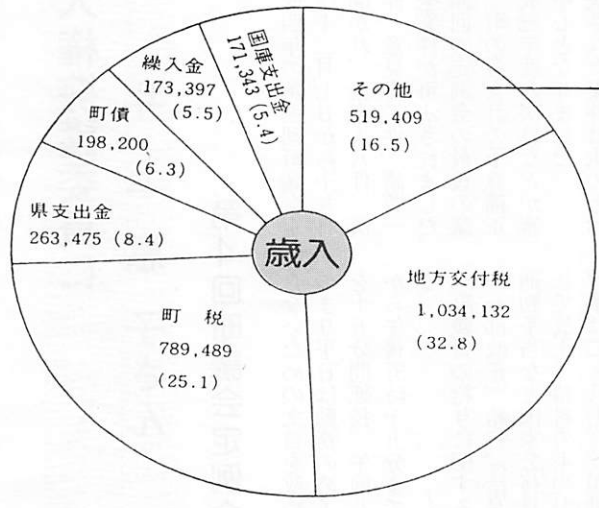
十九号の被害に伴う災害復旧など。

- その他の経費 前年度より一億八千五百六十五万七千円（二〇・八割）の増

これは老人保健・国保事業特別会計と新たに土地開発基金を設け繰り出したもの。

一般会計

(単位：千円)
() 内は%



- 繰越金 109,638 (3.5)
- ゴルフ場利用税交付金 87,069 (2.8)
- 諸収入 66,781 (2.1)
- 地方譲与税 64,440 (2.0)
- 財産収入 60,497 (1.9)
- 自動車取得税交付金 35,077 (1.1)
- 利子割交付金 32,857 (1.0)
- 分担金及び負担金 28,679 (0.9)
- 寄付金 18,090 (0.6)
- 使用料及び手数料 13,358 (0.4)
- 交通安全対策特別交付金 1,400 (0.1)
- 特別地方消費税交付金 1,523 (0.1)

歳入 31億4,944万5千円
歳出 30億6,639万6千円

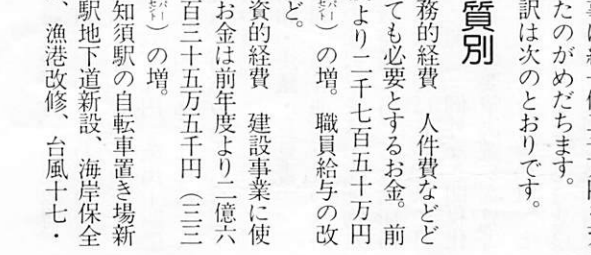
歳入

- 議会費 70,746 (2.3)
- 災害復旧費 33,921 (1.1)
- 消防費 28,622 (1.0)
- 商工費 25,310 (0.8)
- 労働費 2,378 (0.1)

目的別



性質別



歳出

総額三十億六千六百三十九万六千円で前年度に比べて四億七千八百五十二万二千円（一八・五割）増。

過去の決算状況からみて、三十億円台になったのは平成三年度が初めてです。

財政調整、奨学、都市計画事業、公共施設建設、まちづくり人づくり、福祉、土地開発などの基金に一億四千万円を当てたほか、水道の補助、高料金対策など一億四千万円余、新農業構造改善事業（ライスセンター関係）一億三千万円余。阿知須町の地下道新設工事に約一億二千万円を充当したのがめだちます。

目的別

主なものを三つを前年度と比較してみると

- 総務費 二千九百四十四万六千円（四・三割）の増
- 農林水産業費 二億七千七百八十八万八千円（七三・九割）の増
- 土木費 二億五千一百一十七千円（二〇七・八割）の増

特別会計

(単位：千円)

会計名	予算現額	歳入総額 A	歳出総額 B	差引残額 A-B
国民健康保険	496,597	508,712	467,556	41,156
老人保健	773,246	775,167	766,556	8,611
交通災害共済	4,069	3,250	2,500	749
同和地区住宅資金貸付	915	911	909	2
同和福祉援護資金貸付	309	545	0	545
下水	2,747	2,388	2,388	0
土地取得	170,340	170,340	170,340	0

平成4年分申告相談日程

月	日	曜日	午前の受付 9時～11時	午後の受付 1時～4時	会場	
2	9	(火)	還付申告相談受付 (2/11を除く)		町役場 第2会議室	
"	12	(金)				
"	16	(火)	小東・小西	小南	町役場 第2・第3 会議室	
"	17	(水)	前出・北祝	南祝		
"	18	(木)	恵比須・築地	東・西祝		
"	19	(金)	税務署相談・税理士無料相談		町公民館 2階 大会議室	
"	20	(土)	平常事務	—	町役場 第2・第3 会議室	
"	21	(日)	—	—		
"	22	(月)	縄田南・縄田北	中村・西条・寺河内		
"	23	(火)	浜	小山・二の宮・砂一		
"	24	(水)	砂	二砂		
"	25	(木)	飛	沖の		
"	26	(金)	岩西・岩西前	岩前		
"	27	(土)	閉	庁		
"	28	(日)	—	—		
3	1	(月)	岩	辻		町役場 第2・第3 会議室
"	2	(火)	旦	東		
"	3	(水)	旦	北		
"	4	(木)	岡	浜		
"	5	(金)	赤	迫		
"	6	(土)	平常事務	—		
"	7	(日)	—	—		
"	8	(月)	野	口		
"	9	(火)	河	内		
"	10	(水)	向	井		
"	11	(木)	引	野		
"	12	(金)	指定日に来られなかった人			
"	13	(土)	閉	庁		
"	14	(日)	—	—		
"	15	(月)	指定日に来られなかった人			

年間所得の決算

2月16日～3月15日

確定申告

今年の確定申告は二月十六日から三月十五日までです。
この申告は昨年一年間の所得の総決算です。
所得金額や税額を正しく計算し、申告と納税を期限内に済ませましょう。

申告相談は割当日に

確定申告相談は二月中は混雑が予想されます。
今年も地区別の割当表(左表)の自分の該当する日にお出かけください。受け付け時間は午前九時から十一時まで、午後一時から四時までです。

会場は昨年と同じ第二・三会議室です。
また、税金を納め過ぎて払い戻しを受けるための還付申告は一月から受け付けていますが、今年には特に二月九日(火)から十二日(金)まで還付申告相談会場設けます。早目に申告してください。

税務署の相談日

2月19日町公民館で

山口税務署は二月十九日に本町に向き申告相談に応じます。
税務署から通知のあった人は、必ずこの日にお出かけください。
また、税理士による無料相談もありますのでご利用ください。

農業者の申告の場合、次の作物などは収入金を基礎にして所得の計算をします。
▽温室栽培(ビニールハウスを含む)イチゴ、メロン、カボチャ、キュウリ、ナス、トマト、菊、バラ、カーネーションなど
▽その他 ナシ、桃、温州ミカン、キャンベル、搾乳など
該当者は、面積以外に出荷先ごとの月別収入明細書を申告書に添付を。
収支内訳書や収入明細書の用紙は町税務課と農協にあります。

収支内訳書など添付を

平成四年中に事業所得(農・商・漁業など)、不動産所得、山林所得のある人は、三月十五日までに確定申告をすることになっています。
申告書にはそれぞれ所得別に平成四年の総収入金額および必要経費の内容を記載した収支内訳書(税務署から送付のもの)を添付して提出しましょう。

申告に出かけるとき

口座番号を控えて

所得の状況などによっては納め過ぎた税金が戻ってくる場合があります。
あらかじめ自分の預貯金の種類、口座番号を控えて申告会場に出かけるとよいでしょう。



健康を保ち、成人病を予防するために、タンパク質やビタミン、ミネラルなどの栄養素を過不足なくとることが大切です。
食事で注意することは主食と野菜、それに副菜をそろえ、一日に三十食品を使うことを目標にして、栄養のバランスをとりました。
しかし、食品数を多くすると食べ過ぎやエネルギーの過剰摂取になりやすいので気を付けましょう。
寒い時は温かいものが喜ばれます。牛乳の臭いが気にならないミルク茶わん蒸しを作ってみましょう。

蒸し
<1人当りの栄養価>
エネルギー 139 kcal
タンパク質 12.6 g
脂肪 6.3 g

ミルク茶わん
ぎんなん(缶詰) 8個
ほうれん草 50g
牛乳 2カップ
塩 小さじ1/2
しょうゆ 小さじ1/2

鶏ささみ 80g
しょうゆ 大きじ1/2
酒 大きじ1/2
卵 2回(100g)
エビ 4匹(40g)
しめじ 1/2パック

- ① 鶏ささみはそぎ切りにし、しょうゆと酒につけ、下味をつける。
- ② エビはからを取り、竹串で背わたを取り除き、酒を少しふりかける。
- ③ しめじは房を分け、ほうれん草はゆでて3センチに切る。
- ④ 卵を割りほぐし、牛乳、塩、しょうゆ、とりのつけ汁を入れよくうらごす。
- ⑤ 茶わんに鶏肉から材料を入れて、卵汁をそそぐ。
- ⑥ 湯気の上った蒸器に入れ、ぬれたふきんをかけ、強火で1分間、弱火で7分間ぐらい蒸す。



材料 (4人分)

作り方

公民館だより



たづくり教室



スキー教室（八幡高原191）

地下式横穴墓

旦遺跡発掘で

町教育委員会は去年十一月三十日からことし一月三十日まで二か月間、ほ場整備事業のため現状維持が困難になった岡遺跡と旦遺跡の発掘調査を豊洋中学校（豊浦町）校長富士塾勇氏を中心に行いました。

その結果、岡遺跡で阿知須町から初めて「地下式横穴墓」(ちかしきおつけつぼ)が発見されました。

この「地下式横穴墓」は、中世(鎌倉・室町時代)に埋葬されたもので、住居跡の南側に位置し、間口が直径七十センチ、深さが二・五メートルあり、底部はひょうたん型をしており、南北に二メートル、東西に九十四・四十五センチの形状をしています。(図面参照のこと)

同和教育だより ⑩

温かい心のふれあうまちに



だれもが幸せで温かい心のふれあうまちに住みたいと願っています。

しかし、私達の毎日の生活の中で、この願いはかなえられていないでしょう。

例えば、朝、道を歩いていて人に出会ったときに、あなたは「おはようございます」と一言あいさつをしますか、それとも黙って通り過ぎますか。お互いに明るい気持ちになれるのはどちらでしょうか。

また、本当のことはわからなのままに、うわさを広めたり、悪口を言ったりすることはない

でしようか。このことによつてあやまちを生み、傷つく人もいますし、逆に自分の人格をさげることにもなると考えられます。

さらに、大安・仏滅などの不合理な迷信や風習にこだわる考え方はないでしようか。おかしいと思いつながら、昔からそうしている、みんながそうしているからと認めるのではなく、お互いに改めていくように努力することが大切です。

これらのことを考えることが人権を尊重した、明るいまちづくりにつながります。

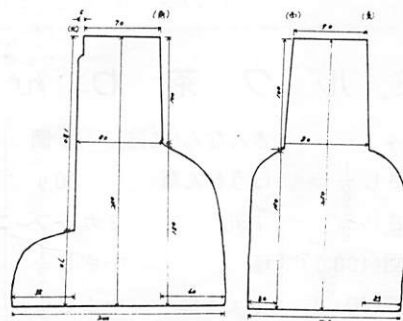
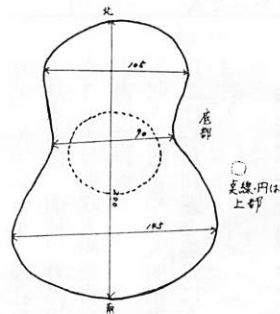
(阿知須町教育委員会)

また、埋葬者は、丸塚古墳群同様に畑作村落などの村の支配者などが埋葬されたと考えられ、副葬品などはありませんが、燻火(ばんか)の跡が二か所発見されました。

阿知須町教育委員会では、貴重な遺跡として現状のまま三月上旬まで保存、以後は破壊し、

埋め戻します。関心のある方は一度見学されてはいかがでしょうか。

調査の結果は、今後整理して三月五日(金)の埋蔵文化財講演会で発表する予定です。



町内柔剣道大会開催

申し込み16日まで

町体育協会は二月二十一日(日)午前九時三十分から第二十回町内柔剣道大会を次のとおり開きます。

▽会場 町勤労者体育センター

▽参加資格 町内在住者および在勤者

▽申し込み 二月十六日(火)までに町公民館内体育協会事務局(☎66-20022)へ

(柔道の部)
一般(高校生含む) 中学生・小学生の部
(剣道の部)

一般(中学・高校生含む)小学生の部

阿知須走ろう会 走る仲間を募集

阿知須走ろう会では「楽しみながらマイペースで走る」をモットーに一緒に走る仲間を募集しています。

▽対象 どなたでも

▽会費 年三千円(保険は各人で必ず加入すること)

▽練習日 毎週日曜日・午後五時から

▽指導者 金重千之さん(小西)

▽問い合わせ 橋本皓一(小西)

☎66-33191 練習日に阿中グランドへ

▽場所 阿中グランド

新春囲碁大会の成績

阿知須囲碁同好会は一月十日(日)に町公民館で三十三名が参加し「新春囲碁大会」を開きました。

当日の成績は次のとおり。

- ①小田秀夫(沖の原) ②西村安雄(砂三) ③秋本英美(浜)
- ④宮村良作(飛石) ⑤桜井達二郎(砂三) ⑥安村重男(沖の原)
- ⑦浜崎武雄(縄南) ⑧坂野卓史(浜)
- ⑨松重幸祐(砂三) ⑩松下秀夫(縄北)

昇級者
桜井達二郎(四段へ) 浜崎武雄(二級へ) 小田秀夫(三級へ) 安村重男(三級へ)

各種大会の成績

▽第十九回子どもたこ作り・たこあげ大会(一月二十四日町教委・町子連)

◎最優秀賞 空野彰寛(赤迫)

◎優秀賞 松浦秀俊(砂一) 藤重宏太(岩上) 井上弘(河内)

◎デザイン賞 松浦一孝(砂二)

村田美希子(旦西) ◎努力賞 古谷清明(浜表) 上野由紀子(岩上) 井上雄司(河内)

☆図書室への寄贈

○田辺剛治さん(岩西) から図書代を

※燻火とは死者を祀るために墓で火を焚くこと。

ふれあい広場

「ふれあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画課(有線二一四四)へお寄せください。



一歳になりました

ゆめか 夢加ちゃん

(平成4年1月4日生)



縄田 見吾(東)

真弓さん二女

ゆうじ 次くん

(平成4年1月10日生)



田中 勲(小山)

恵子さん二男

しょうこ 承子ちゃん

(平成4年1月25日生)



古谷 彰正(西条)

明子さん長女

ゆうじ 次くん

(平成4年1月25日生)



宮部 義幸(砂郷三)

裕美子さん二男

善意はここに

〈町へ〉

◇広報送料▽工藤義男さん(横浜市旭区鶴が峰二二二六七出川ビル二〇一号・寺河内出身)
津秋富子さん(光市浅江五十五一・飛石出身) 田中辰雄さん(御殿場市川島田六一五・浜出身)
〈町社会福祉協議会へ〉
◇香典返し▽古田哲夫さん(岩

倉前)は父敏武さんの▽松下誠治さん(源河)は母スマさんの▽大空順吉さん(浜表)は妻厚子さんの▽山根輝子さん(且門松)は夫一郎さんの▽吉本輝夫さん(小古郷南)は母ヨシコさんの▽大場妙子さん(北祝)は祖母北村ツキノさんの▽又野孝夫さん(砂郷三)は母イシさんの▽村田輝雄さん(向井関)は父恒祐さんの
◇篤志▽匿名(30回)▽伊藤收さん(宇部市東岐波)は退職金の一部を

☆☆☆☆☆☆☆☆
「親切な人はこの人」
見つけたら推薦をどうぞ



「小さな親切」運動阿知須町支部は、このほど町内九か所の窓口にて「小さな親切」の推薦カードを入れる箱を備えました。広い範囲で親切な行為を見つけ、推薦された人には小さな親切の実行章を贈ろうとするのがねらいです。困っている人への思いやり、他人から感謝される行為・ほのぼのとした行為など、心のあたたまる行為をした人を見つけたら、推薦カードに書いて、この箱に入れてほしいと呼びかけています。

推薦カードを入れる箱を置いていところは次のとおり。
町役場住民課、山口銀行阿知須支店、吉南信用金庫阿知須支店、町農業協同組合本所、町商



「小さな親切」
実行者、推薦ダイヤルカード

親切な行為を発見されたらお電話下さい。

澤田	和男	65-2040	上野	房枝	65-4254
松田	正興	65-3832	大田	水城	65-3723
山本	哲也	65-3556	肥後	洋子	65-4447

工会、同仁病院、共立病院、阿知須小学校、井関小学校
.....
功績章など贈る
消防団出動式で7人に

町消防団(中村昭三団長・在籍62人)の出動式はことしも一月五日、役場広場で行われ、長期に勤の団員ら七人に表彰状や感謝状が贈られました。
被表彰者は次のとおり。
(敬称略)

(県消防協会長表彰)▽功績章
—原田常男(岩倉上)▽勤続章
・三十年—上野一秋(岩倉辻)
石田義香(浜)▽同・二十年
三宅謙二(縄田南)▽感謝状
—退職団員—西村哲(井関)
〔町長表彰〕▽勤続章—佐藤明人(野口)
〔町消防団長表彰〕▽精勤章—柳井強(前山)

よからじみ

(届出順)

(一月二十五日受付分)
出生(おすこやかに)

子の名 続柄 親の名 月 日 住 所
藤重亜美二女 光男 12・14 岩 辻
弘中美希三女 貴 12・18 赤 迫
田中聖乃三女 英明 12・20 惠比須
藤村麻優長女 實 12・22 沖の原
工藤健作四男 明敏 12・26 縄 北
久富咲子二女 幸男 12・28 砂 二

中川美咲二女 義孝 1・1 河内

死亡(ご冥福を祈ります)

山根	一郎	12・24	78	且門松
朝廣	ハツコ	12・24	82	沖の原
吉本	ヨシコ	12・28	87	小南
大空	厚子	12・29	51	浜表
富田	キヌコ	12・31	66	東
伊藤	セツ子	12・31	79	沖の原
板井	進	1・1	75	仙在
右田	ツマ	1・3	89	沖の原
北村	ツキノ	1・11	90	北祝
田中	ユリ	1・12	76	向井関

(訂正)

前月号広報の善意はここにの岩田秀夫さんの出身地が「飛石」とあったのは「寺河内」の誤りでした。

藤原アヤコ 1・13 76 西条
又野 イシ 1・16 82 砂三
村田 恒祐 1・16 87 向井関
藤重 光雄 1・19 71 引野
山下ユキノ 1・20 91 引野

